



（住所）奈良市春日野町160
 （祭神）天押雲根命
 （交通）JR・近鉄奈良駅から「春日大社本殿」行きバス。終
 日大社本殿 行きバス。終

（拝観）境内自由
 （駐車場）有料（春日大社駐車場）
 （電話）0742・22・7788

点から徒歩約10分

春日大社 若宮神社 （奈良市）



春日大社の若宮神社は、春日大社の摂社で、若宮と呼ばれ、水徳や五穀豊穰、智慧・芸能の神様として信仰されてきました。一方で春日大社本社は「大宮」と呼ばれます。大宮から若宮までの約100mの「御間道」には、奉納された灯籠が並び、室町時代に全国の神

社仏閣に奉納された石灯籠の約3分の2がありま

す。「春日社記」などによると、若宮本殿は1135（長承4）年に大宮第三殿（天児屋根命）と第四殿（比売神）の御子神・天押雲根命をお祭りするために造営され、背後の神山・御蓋山も拜めるよう

祭典の際には、本殿手前にある拜舎の石敷に神職が座り、神楽殿では、御巫の舞である社伝神楽が奉納されます。例祭である12月の「春

日若宮おん祭」は、若宮創建の翌年1136（保延2）年に人々の幸せを願って関白・藤原忠通が創始したと伝わり、毎年一度も途切れることなく900年近く続いています。平安朝以降の芸能、風俗を知り得る貴重な祭礼として、お渡り式や奉納される神事芸能は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。（奈良まほろばソムリエの会会員 池田崇）

藤原忠通から900年続く例祭

（奈良まほろばソムリエの会会員 池田崇）